

2023年6月19日

各位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
代表者名 代表取締役副社長 児島 研介
(東証スタンダード・コード番号 9610)
問合せ先 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長
渡壁 淳司
電話番号 03-6381-0234

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2021年12月21日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下の通りとなっており、株主数、流通株式数、流通株式比率については、2021年3月に続き、2023年3月末も基準を充たしておりますが、株価の上昇が限定的となっているために流通株式時価総額については充たしておりません。

当社は、下表のとおり、流通株式時価総額に関しては2024年3月までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種の施策を進めてまいります。

		株主数	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合状況 及びその推移	移行基準日 2021年3月31日 時点	2,081人	21,937単位	5.04億円	42.5%
	2023年3月31日 時点※	2,116人	25,793単位	4.55億円	50%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
計画期間		-	-	2024年3月末	-

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年12月～2023年3月）

「流通株式時価総額について」

流通株式時価総額を構成する要素は、流通株式比率と時価総額であり、当社は流通株式比率を該当期間中に42.5%から50%に向上させております。

しかしながら、株価の低迷により流通時価総額が5.04億円から、4.55億円に減少しております。時価総額については、業績の回復が基準への適合の最重要課題であり、これを進めることで、基準達成を目指してまいります。

2023年3月期連結決算では、コロナ禍前の2019年3月期以来4期ぶりに経常黒字を計上しましたが、主要には北米子会社の収益認識上の売上の影響によるものであり、引続き経営努力を続けてまいります。

(単位：100万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 属する当期純利益
2022年3月期実績	1,788	△535	△491	△308
2023年3月期実績	2,492	146	18	△26

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

「流通株式時価総額」

① 流通株式数の増加

当社は2023年4月に「第三者割当による第1回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行」を行い、12,500個の新株予約権を発行しました。2023年5月末時点で5,150個の行使が行われ、発行株式総数は10%増加しております。この施策により流通株式数自体の増加を予定しております。

② 商品開発による業績の回復

上記新株の発行による資金を、デジタル領域、リーダーシップ領域の新商品開発に充当し、業績の回復を図るものであります。

③ 価格改訂の実施による利益率確保

諸物価のインフレに対応するため、当期期初に日本及び各子会社で研修商品の価格改訂を行い、平均10%の値上を実施しました。この施策により営業利益を改善する予定です。

④ IRの充実

顧客事例、グローバルでの受賞事例等、当社の事業価値を高めるIR開示を積極的に行い、株価の向上を目指してまいります。

以上